



World Karate Federation General Secretary Office News Letter vol.42

Edition March 14th, 2017

沖縄空手会館 落成

「伝統と革新」を象徴する行事

沖縄県豊見城市に「沖縄空手会館」が完成し、3月4日(土)に行なわれた落成記念式典に出席しました。

テープカット、記念式典、そして日本武道学会シンポジウムに参加しましたが、いずれも素晴らしいものでした。なかでも、沖縄空手や古武道等、さまざまな関係団体の代表者が列席されスピーチをする中で、誰もが空手のオリンピック種目化を歓迎し、祝すコメントをしていたことに、WKFがオリンピック採用直後より掲げているスローガン「伝統と革新の完璧な調和」を象徴する行事であると強く感じました。

シンポジウムでは「WKFとしては『伝統空手』と『競技化』をどう考えているか?」という質問を受けました。WKFは空手の国際“競技”団体であり、その主たる目的はオリンピック採用を筆頭とする空手競技の普及発展です。

競技規定を設け、それに則って大会を実施する以上、競技大会での空手の姿と、伝統的に継承されている空手の姿が同一にはならないことが多々あります。しかしながら、これは競技と伝統を分断するものではありません。

伝統のない革新は停滞し、革新のない伝統はやがて衰退します。だからこそWKFは、東京オリンピックの追加種目選考では「組手」だけでなく「形」も種目化することに一貫して粘り強い交渉を続けたのです。古来から伝わる空手の特徴的な技が、形にはふんだんに残されているからです。



テープカットの様子。沖縄空手会館は、大道場、特別道場、資料館を完備する。

全空手家の故郷 (home)

会館落成にあたってエスピノス会長が祝辞を送り、その中に次のような言葉があります。

「沖縄は空手発祥の地であり、全世界の空手家の故郷であります。空手は沖縄で誕生し、日本本土、そして海外各地へと伝わり、長い旅路を経て、2020年にはオリンピック種目となることが決定いたしました。国際的に広まった沖縄の文化・空手の殿堂が設立されたことを心よりお慶び申し上げます。」

空手発祥の地にその殿堂ができたことを心より祝福いたします。

世界空手連盟 事務総長

奈藏 稔 入

世界空手連盟 事務総長事務所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-10 セイコー虎ノ門ビル7階
電話 03-3519-8520 FAX 03-3519-8521 wkf@wkf-gs.jp